

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191500042		
法人名	株式会社 ケアフル・ケア		
事業所名	グループホームせせらぎ		
所在地	佐賀県西松浦郡有田町応法丙3902		
自己評価作成日	平成26年3月6日	評価結果市町村受理日	平成26年6月3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号
訪問調査日	平成26年3月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

介護サービス理念「5つのならば」を毎日朝礼時に唱和し、理念に沿った介護を目指して頑張っています。また、すべてのスタッフが利用者様主体・利用者様目線で「自分が入りたい施設」を目標にしています。スタッフ同士は勿論、ホームに来られる全てのお客様に笑顔で「あいさつ」を欠かさずに行っています。地域との関わりについても、応法区内である、お祭り・祇園などに参加させて頂き、利用者さまもお酒を酌み交わすなど地域の一人として可愛がって頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

有田焼きの工房が立ち並ぶ、静かな場所で、周囲は山林に囲まれ四季の景色を感じながらゆっくりとした日常生活を送れる場所である。地域との繋がりも大切にされ、行事などには互いに参加できるよう関わりを深くもたれている。スタッフは日頃から理念を振り返り、入居者主体、入居者目線の施設を目指されている。法人内の別事業所との交流を含めて情報交換を多く行いながら、スタッフの意識を高められている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印			項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		
	黒髪	龍門			黒髪	龍門	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(黒髪ユニット)	自己評価(龍門ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	介護サービス理念「5つのならば」を毎朝朝礼で唱和し、職員全てが理念に沿った介護ができるよう心がけています	介護サービス理念「5つのならば」を毎朝朝礼で唱和し、職員全てが理念に沿った介護ができるよう心がけています	入職時の新人研修により、理念についての説明を行い、年に1回ユニット・個人目標を作成され、モニタリングを行いながら理念の共有と実践に取り組まれている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の祭りやおくんに参加させて頂いたり、近所の方が畑仕事や草払いの手伝いをしてください。また、地区の清掃の際は参加しています	地域の祭りやおくんに参加させて頂いたり、近所の方が畑仕事や草払いの手伝いをしてください。また、地区の清掃の際は参加しています	地域でのお祭りや、地域での集まりなど、入居者、職員と一緒に参加されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の方でもできることを理解していただくために、運営推進委員会や掲示板などを使用し、理解していただくようにしています。また、当職員が認知症サポーター養成講座の講師し、活かしています	認知症の方でもできることを理解していただくために、運営推進委員会や掲示板などを使用し、理解していただくようにしています。また、当職員が認知症サポーター養成講座の講師し、活かしています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	各月のユニットの行事や出来事、健康状態、入所・退所の状況、事故などの報告を行いながら、活かしています	各月のユニットの行事や出来事、健康状態、入所・退所の状況、事故などの報告を行いながら、活かしています	地域協力者の参加も多く、民生委員から高齢者についての相談を受けることもある。地域や家族からの要望など会議に盛り込む取り組みもされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議では勿論、日頃から空室状況や感染症の報告、研修会への参加し交流を図るようにしています	運営推進会議では勿論、日頃から空室状況や感染症の報告、研修会への参加し交流を図るようにしています	地域行政主体の研修会への出席、運営推進会議での助言など市町村との密接な連携が取られている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間の戸締まり以外は、常に自由に出入りができるようになっています。ペットの柵も常に降りることができるような設置の仕方をしています。年に1回は勉強会を開き、取り組んでいます	夜間の戸締まり以外は、常に自由に出入りができるようになっています。ペットの柵も常に降りることができるような設置の仕方をしています。年に1回は勉強会を開き、取り組んでいます	常に拘束をしないケアに取り組まれており、実際に身体拘束はない。入居者の状況に合わせてケア方法の話し合いが行われている。言葉遣いなど細かな部分に視点を置かれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年に1回の虐待防止の勉強会や外部研修への参加、また職員が不安や悩みを持つ際に解決できる仕組み作りを行うことで、虐待の防止に努めています	年に1回の虐待防止の勉強会や外部研修への参加、また職員が不安や悩みを持つ際に解決できる仕組み作りを行うことで、虐待の防止に努めています		

自己	外部	項目	自己評価(黒髪ユニット)	自己評価(龍門ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修などに参加し、理解し活用できるように努めています	研修などに参加し、理解し活用できるように努めています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にご説明し、納得して入所して頂けるように努めています	契約時にご説明し、納得して入所して頂けるように努めています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を年2回開催し、アンケートや意見を会長様にまとめて頂き、意見を反映しています	家族会を年2回開催し、アンケートや意見を会長様にまとめて頂き、意見を反映しています	家族主体の団体を発足され、職員不在での食事会などもある。満足度アンケートなど熱心に取り組まれている。要望なども常に聞き入れられる体制もある。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフが意見を言いやすい雰囲気作りと各個人別にファイルを作成し、意見交換や疑問など解決できるようにしている	スタッフが意見を言いやすい雰囲気作りと各個人別にファイルを作成し、意見交換や疑問など解決できるようにしている	スタッフへの個別のモニタリングを行い、個別目標に沿ったスタッフのスキルアップができるよう意見交換など熱心に取り組まれている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	社会保険労務士などに依頼し、給与水準や仕事の出来栄などを自己評価しフィードバックしながら、やりがいや昇給に活かすシステムを導入しています	社会保険労務士などに依頼し、給与水準や仕事の出来栄などを自己評価しフィードバックしながら、やりがいや昇給に活かすシステムを導入しています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内外の研修には積極的に参加して頂いています。また、個人の目標を立て毎月振り返りを行いながら、ケアの向上に努めています	施設内外の研修には積極的に参加して頂いています。また、個人の目標を立て毎月振り返りを行いながら、ケアの向上に努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	有田町内のGHの勉強会を月に1回開きお互いの質の向上に努めています	有田町内のGHの勉強会を月に1回開きお互いの質の向上に努めています		

自己	外部	項目	自己評価(黒髪ユニット)	自己評価(龍門ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面接時に、ご本人が望まれること困っていらっしゃるなどをお聞きし、安心して入所して頂けるように努めています	初回面接時に、ご本人が望まれること困っていらっしゃるなどをお聞きし、安心して入所して頂けるように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人のご要望にお応えするのは勿論のことですが、ご家族の悩みをお聞きし支えていくことも大事なことだと思しますので、十分にお話を聞き、少しでも気持ちが楽になれるよう努めています	ご本人のご要望にお応えするのは勿論のことですが、ご家族の悩みをお聞きし支えていくことも大事なことだと思しますので、十分にお話を聞き、少しでも気持ちが楽になれるよう努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お困りのことに対して、今必要なことを十分に検討した上で、柔軟な対応ができるように努めています	お困りのことに対して、今必要なことを十分に検討した上で、柔軟な対応ができるように努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	まだ完全ではありませんが、相手の立場に立って常に考えることを、日頃からスタッフ一同心がけています	相手の立場に立って、理念にある「ならば」の気持ちを忘れずにしています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人が必要とされている際は、ご家族の出来る範囲で協力して頂き、スタッフが協力し共に利用者様を支えています	ご家族の協力が多く、大変ありがたいと思っています。その御蔭で、ご本人の希望や外出・外泊など実践できていますスタッフも出来る限り協力させて頂いています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の馴染みの場所に「行きたい」時に行けるように、ご家族と相談しながら支援しています	かかりつけ医は馴染みの先生を変えず安心して生活して頂けるように努めています。また、自宅への外出なども積極的に行っています	地元での行事、自宅への一時帰宅など、馴染みのある場所へ外出したいと要望があれば積極的に協力できる体制が整えられている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の性格や関係性をみて、その都度スタッフが対応しながら、お互いの印象が悪くならないように努めています。リビングでの食事の席や日常過ごされる空間は特に配慮しています	利用者様の人柄・性格を考え支えあうよう支援しています。また、居室に長くいらっしゃる利用者様に関しては、スタッフや利用者様と訪室し、会話を持つように心がけています		

自己	外部	項目	自己評価(黒髪ユニット)	自己評価(龍門ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	電話連絡、手紙などのやりとり、家族会への参加を呼びかけています	電話連絡、手紙などのやりとり、家族会への参加を呼びかけています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃のコミュニケーションから、思いや希望を読み取り、担当者を中心とし検討しています	日々の生活でご本人が話されることに対して、希望に添えるよう努めています	家族の意見を取り入れ、担当者との信頼関係で意向の把握を行なわれている。会話、アセスメントでの問題点を探し、その方のニーズをとらえるようにされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントをとり、ケアにつなげている	アセスメントをとり、支援するよう努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別申し送りへの記録、申し送りでのスタッフ間の共有・コミュニケーションで把握に努めています	個別記録やケアプランにて現状の把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスやユニット会議でご本人・ご家族の意見を重視し、作成に努めています	カンファレンスやユニット会議でご本人・ご家族の意見を重視し、作成に努めています	スタッフからの聞き取り、アセスメントを行い、ケアマネジャーがケアプランを作成されている。入居者のニーズ、家族の意見、スタッフの意見も踏まえながら作成に努められている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別申し送りやケアプラン実行表に記入し、情報の共有に活かしています	個別に申し送りに記入し、情報はノートで共有するようにしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出や外泊の際の支援、入所時のお試し、ご家族の送迎の手伝いなど取り組んでいます	外出や外泊の際の支援、入所時のお試し、ご家族の送迎の手伝いなど取り組んでいます		

自己	外部	項目	自己評価(黒髪ユニット)	自己評価(龍門ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご自宅への外出、なじみの場所への外食など支援しています	地域の知人、ご家族様に協力していただきながら、安心して過ごして頂けるように心がけています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人の今までのかかりつけ医を受診しています。状態に応じてDrへ相談、またFAXなど使用し状態報告、往診などで支援して頂いています	ご本人の今までのかかりつけ医を受診しています。状態に応じてDrへ相談、またFAXなど使用し状態報告、往診などで支援して頂いています	今までのかかりつけ医を継続できるように取り組まれている。往診やスタッフによる受診付添なども行われている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の中で、変化・気づきがあればその都度看護師へ報告し、支持をもらうようにしています	日常の中で、変化・気づきがあればその都度看護師へ報告し、支持をもらうようにしています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	地域連携室との連絡を密にし、情報交換をするよう努めています。また、入院中はこまめに足を運び利用者様の状態の把握・早期に退院できるよう努めています	地域連携室との連絡を密にし、情報交換をするよう努めています。また、入院中はこまめに足を運び利用者様の状態の把握・早期に退院できるよう努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態が変わられた場合は、ご家族へ連絡し報告している。また、重度化される前に、ご家族と話し合いの場を設け、思い希望をお聞きし、今後考えられることなどもお伝えするようになっている	状態が変わられた場合は、ご家族へ連絡し報告している。また、重度化される前に、ご家族と話し合いの場を設け、思い希望をお聞きし、今後考えられることなどもお伝えするようになっている	契約時にホームの指針を伝え、意向の確認など行われる。状態に応じてその都度、医師を交えて家族も含めたカンファレンスが行われている。看取りの経験も豊富であり、スタッフも熱心に勉強会などに出席されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	実践力にかけているものもあるが、連絡体制や必用に応じて、勉強会・確認作業を行っている	実践力にかけているものもあるが、連絡体制や必用に応じて、勉強会・確認作業を行っている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練は年2回のほか、職員会議の際に消防担当が主となり、警報装置の確認など行っている。区長・民生委員の方にも協力をお願いしている。災害に向けて、公民館の使用もお願いしている。	消防訓練は年2回のほか、職員会議の際に消防担当が主となり、警報装置の確認など行っている。区長・民生委員の方にも協力をお願いしている。災害に向けて、公民館の使用もお願いしている。	防災訓練はいろいろな場面を想定して取り組まれている。山間部に位置しており、地域全体での災害想定訓練も計画されている。	

自己	外部	項目	自己評価(黒髪ユニット)	自己評価(龍門ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	相手を尊重した声掛けは常日頃から心がけています。その他も声のトーンや大きさにも気を付けています	利用者様と慣れ合いの関係にならないように特に言葉かけに注意しています	職員会議等で常に確認し合っている。職員間での会話にも気をつけておられ普段より、慣れ合いにならないように意識されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その方にあった、選択できるものを提供し自己決定出来るように心がけています。日頃から、思いや希望をお聞きするような環境づくりに努めています	言葉かけや会話の流れを大事にし、ご本人が決められる環境をつくるようにしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活は勿論、食事や水分を提供する際も、利用者様にあった時間にあわせるように努めています	「自宅へ帰りたい」などの希望がある場合は、可能な限りは付き添いご本人の思いを優先できるように努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみや清潔感はひごろからしえんしていますが、特に外出・行事がある際は化粧などし、気分を高めていただいています	季節に応じた色・洋服の支援。生活習慣を崩さない、おしゃれを継続しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご本人の希望があるものは、提供できています。食事のつぎわけ・食器洗いなど出来る機能を活かして、一緒に準備しています	月に1回、利用者様の希望される食事会を設け、鍋料理やお好み焼きなど一緒に作り、楽しむ時間を設けています	入居者の能力に合わせて、食事のつぎ分けや下膳など一緒に行っている。法人全体で献立を決めて、一括調理で普段は提供されているが、外食や入居者自身が調理できるような食事会など楽しむ時間を豊富に設けられている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量を記録しながら、不足されている方には時間をずらし、違うものの提供など行っている。飲みやすい容器・ストローなども利用しながら自分で飲んで頂くことの支援も行っています。	水分摂取量を記録しながら、不足されている方には時間をずらし、違うものの提供など行っている。飲みやすい容器・ストローなども利用しながら自分で飲んで頂くことの支援も行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛け・介助や必要に応じて、歯間ブラシ・歯磨き粉を変えている	利用者さまの習慣に沿った、ケアを行っています		

自己	外部	項目	自己評価(黒髪ユニット)	自己評価(龍門ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンをスタッフ同士共有し、その方にあった時間で支援しています。全介助が必要な方でも、トイレに座って頂く時間を作っています	排泄パターンをスタッフ同士共有し、その方にあった時間で支援しています。全介助が必要な方でも、トイレに座って頂く時間を作っています	個別の排泄パターンを把握され日中はトイレに誘導され、夜間はポータブルトイレなどで負担をかけないような工夫をされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	内服だけに頼らず、運動・バナナジュースや青汁などを作り提供しています。その方にあった方法をいろいろ考えています	内服だけに頼らず、運動・バナナジュースや青汁などを作り提供しています。その方にあった方法をいろいろ考えています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	毎日好きな時に入浴して頂けるよう希望をお聞きしながら実施しています	毎日の入浴を実施しています。利用者さまの気分に応じて、時間の調整を行っています	夜21:00まで入浴ができるよう、毎日好きな時に対応できるようにしている。拒否がある場合でも本人のペースに合わせて対応されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温の調整・衣服の着替え、必要であれば、食べ物・飲み物の提供を行い、安心して寝て頂けるように努めています	室温の調整・衣服の着替え、必要であれば、食べ物・飲み物の提供を行い、安心して寝て頂けるように努めています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	今の服薬がわかりやすいように、スタッフで一覧表を作成し、誤薬がないように努めています	服用される際は、日にち・名前などの確認を声を上げて実施するようにしている。服薬変更時は、記録し受診記録ノートの活用をしています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人に合わせた、作業・読書など支援しています。ドライブや買い物なども気分転換に行っています	一人一人に合わせた、作業・読書・季節応じた制作など支援しています。ドライブや買い物なども気分転換に行っています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	実施しています。兄弟の方の葬式に出席したいとの希望があり、宮崎まで行き参列できてよかったとご本人様やご家族も喜ばれました	ご家族に相談し、自宅への外泊など支援しています。普段の外出に関しては、毎日のように支援できています	個別の要望に応えられるように、ホームの車で外出をされている。ホーム周りにも広々としたウッドデッキでの食事や、散歩など外出、気分転換などの支援がなされている。	

自己	外部	項目	自己評価(黒髪ユニット)	自己評価(龍門ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望がある際は、ご家族と相談し、その方に応じた金銭の所持を対応するようにしています	自分で支払い安心される方に関しては所持して頂いています。買い物を楽しみにされています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人が手紙を書かれる方もいらっしゃいますし、携帯電話を持っていらっしゃる方もいらっしゃいます。	ご本人が手紙を書かれる方もいらっしゃいますし、携帯電話を持っていらっしゃる方もいらっしゃいます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレなど男性と女性が心地よく使用して頂けるように、別々にしています。季節感を感じて頂けるような、飾り・音楽など取り入れた空間創りを行っています	トイレなど男性と女性が心地よく使用して頂けるように、別々にしています。季節感を感じて頂けるような、飾り・音楽など取り入れた空間創りを行っています	入居者と一緒に作成したものを飾っている。花飾りなど季節感を感じられるような空間創りに取り組まれている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様が好きなときに好きな場所で過ごして頂けるように、その都度配置を変え、空間創りを行なっています	利用者様が好きなときに好きな場所で過ごして頂けるように、その都度配置を変え、空間創りを行なっています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時よりご本人が使用されていたものを持ってきて頂き、仏様なども毎日ごはんも用意するなど馴染みの生活を支援しています	入所時よりご本人が使用されていたものを持ってきて頂き、仏様なども毎日ごはんも用意するなど馴染みの生活を支援しています	ご自身でもとより使っていたもの、仏壇などを持ち込まれるなど、特に制限はされていない。在宅とできるだけ同じような環境を整えるよう努力されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりやベンチ、ソファーのなどを要所に起き、歩くための休憩場所を工夫し、自立した生活を支援しています	手すりやベンチ、ソファーのなどを要所に起き、歩くための休憩場所を工夫し、自立した生活を支援しています		